
**平成27年度 柏崎市連合商工会会員実態調査
報 告 書**

平成27年12月

柏崎市連合商工会

【黒姫商工会、北条商工会、高柳町商工会、西山町商工会】

目 次

I. アンケート調査の概要

1. 調査対象	1
2. 調査方法	1
3. 調査時期	1
4. 調査内容	1
5. 回収状況	1

II. アンケート調査の結果

1. 回答企業の概要	2
(1) 代表者の性別・年齢	2
(2) 事業形態	3
(3) 役員数・従業員数	3
(4) 業種	5
(5) 消費税区分	6
(6) 所属商工会	6
2. 売上高の状況・営業状況	7
(1) 直近の決算期の売上高	7
(2) 1年前と比べた営業状況	8
3. 現在の経営状況と今後の方針等	13
(1) 後継者の決定状況	13
(2) 他社に比べた経営上の優位性	15
(3) 経営上の問題点	17
(4) 今後の事業の進め方	19
(5) 経営を進めるうえで困っていること	20
4. 商工会への要望事項等	21
(1) 関心のある講習会・研修会のテーマ	21
(2) 事業計画策定への関心度合い	21
(3) 商工会への要望事項	22

資料編

平成 27 年度柏崎市連合商工会「広域連携」会員実態調査票	25
-------------------------------	----

I. アンケート調査の概要

1. 調査対象

黒姫・北条・高柳町・西山町商工会の会員企業（個人事業主含む） 329社

【黒姫：42、北条：66、高柳町：82、西山町：139】

2. 調査方法

- ・調査票の配布は4商工会を通じて行い、回答は郵送による
- ・記名式

3. 調査時期

平成27年11月2日～11月20日

4. 調査内容

調査内容は以下の通りである。

(1) 回答企業の概要

- ・会社・事業所名、代表者名、代表者の性別・年齢
- ・事業形態、役員・従業員数、所属商工会、業種、消費税区分

(2) 直近の決算期の売上高

(3) 1年前と比べた営業状況

(4) 1年前と比べて売上高が増加した要因

(5) 1年前と比べて売上高が減少した要因

(6) 後継者の決定状況

(7) 他社に比べた経営上の優位性

(8) 経営上の問題点

(9) 今後の事業の進め方と、その理由

(10) 経営を進めるうえで困っていること

(11) 関心のある講習会・研修会のテーマ

(12) 事業計画策定への関心度合い

(13) 柏崎市連合商工会もしくは所属商工会への要望事項

5. 回収状況

回答数： 95社

【黒姫：16、北条：16、高柳町：28、西山町：35】

有効回答数： 95社

有効回答率： 28.9%

Ⅱ. アンケート調査の結果

1. 回答企業の概要

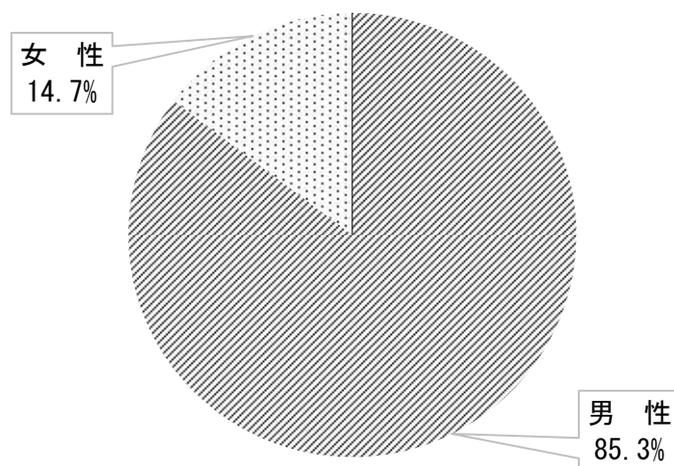
(1) 代表者の性別・年齢

代表者の性別は、「男性」が 85.3%、「女性」が 14.7%となっている（図表 1-1）。

また、代表者の年齢を年代別に集計すると、「60 歳代」(51.6%) の割合が最も高く、次いで「70 歳代以上」(24.2%) となっており、「60 歳代」以上で 7 割を超えている（図表 1-2）。

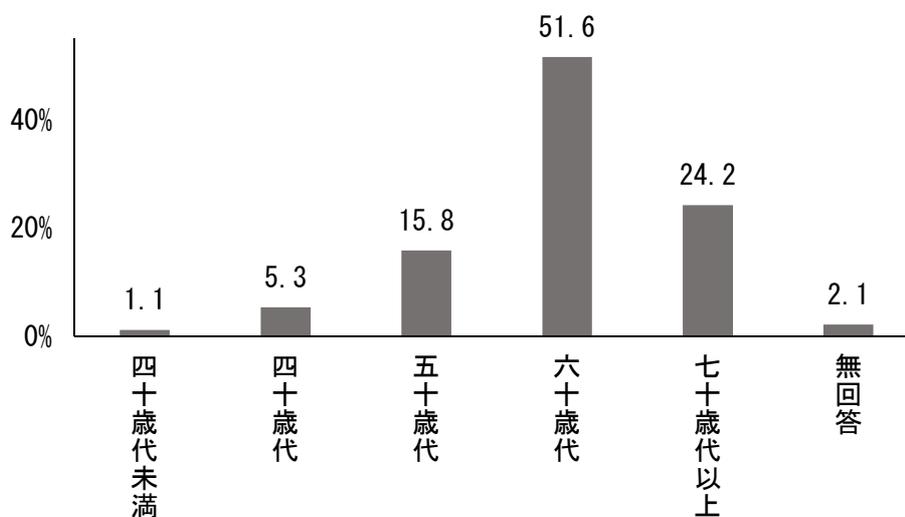
図表 1-1 代表者の性別

(n=95)



図表 1-2 代表者の年代

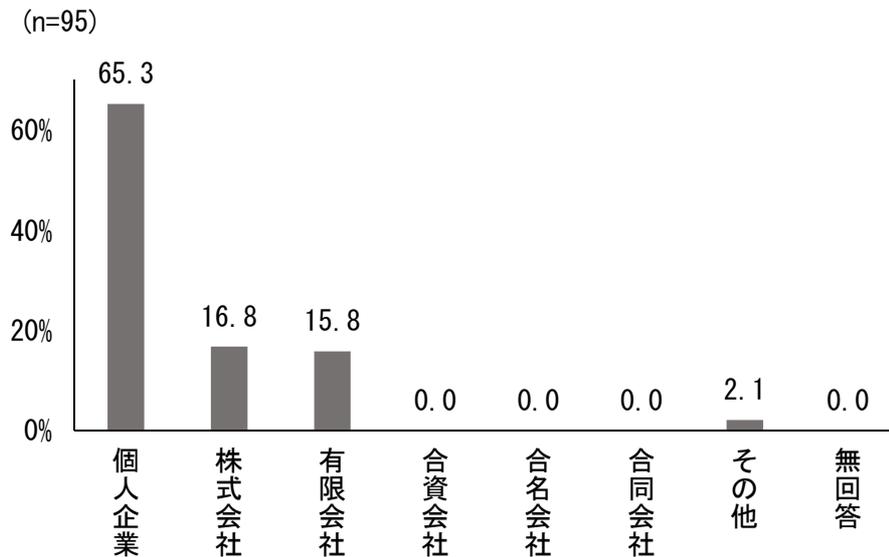
(n=95)



(2) 事業形態

事業形態は、「個人企業」(65.3%)の割合が最も高く、以下「株式会社」(16.8%)、「有限会社」(15.8%)などとなっている(図表1-3)。

図表1-3 事業形態

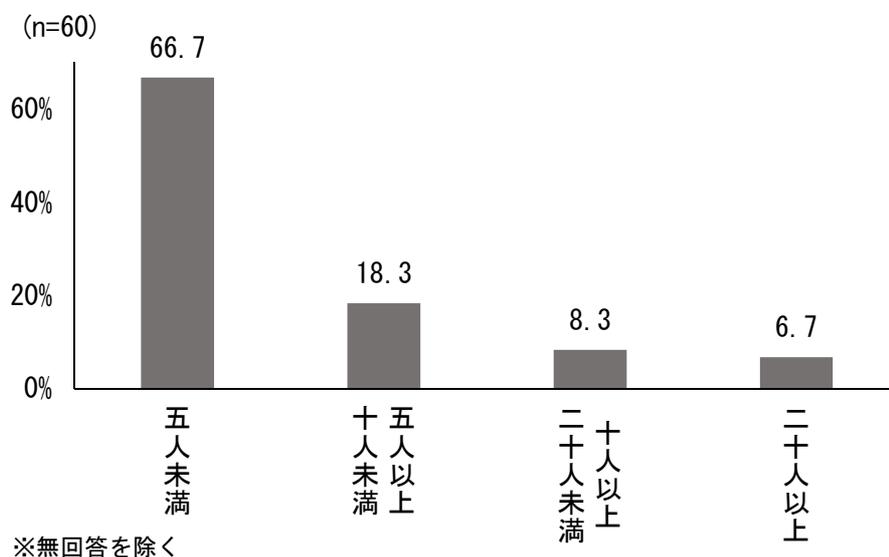


(3) 役員数・従業員数

① 正規従業員数

正規従業員数(無回答を除く)は、「5人未満」が66.7%で最も高く、以下「5人以上10人未満」が18.3%、「10人以上20人未満」が8.3%、「20人以上」が6.7%となっている(図表1-4)。なお、単一回答の設問で、無回答が概ね10%を超えた設問については、無回答を除いて集計している(以下同)。

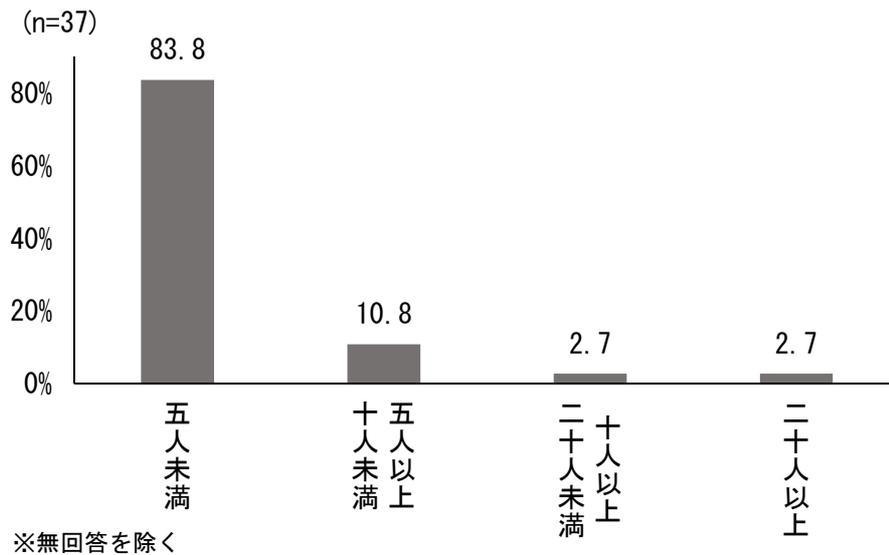
図表1-4 正規従業員数



②非正規従業員数

非正規従業員数（無回答を除く）は、「5人未満」が83.8%で最も高く、以下「5人以上10人未満」が10.8%、「10人以上20人未満」「20人以上」がそれぞれ2.7%となっている（図表1-5）。

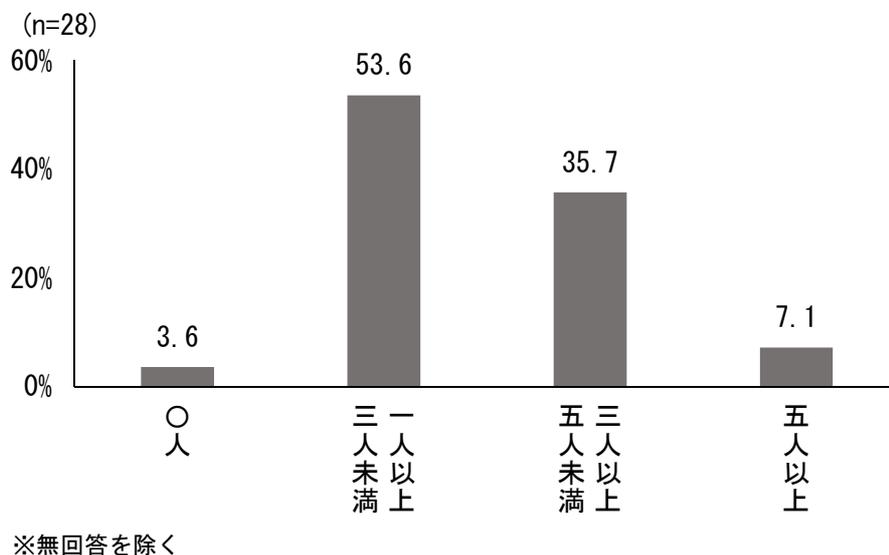
図表1-5 非正規従業員数



③役員数

法人企業（個人企業以外の事業形態）の役員数（代表者を除く。無回答を除く）は、「1人以上3人未満」が53.6%で最も高く、以下「3人以上5人未満」が35.7%、「5人以上」が7.1%となっている。また、「0人」とする企業が3.6%となっている（図表1-6）。

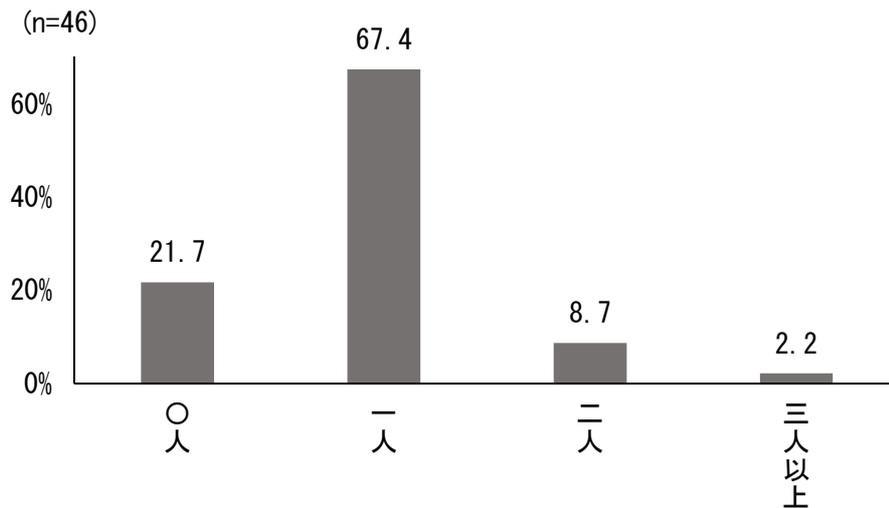
図表1-6 役員数



④家族従業員数

個人企業の家族従業員数（事業主を除く。無回答を除く）は、「1人」が67.4%で最も高く、以下「2人」が8.7%、「3人以上」が2.2%となっている。また、「0人」とする企業が21.7%となっている（図表1-7）。

図表1-7 家族従業員数

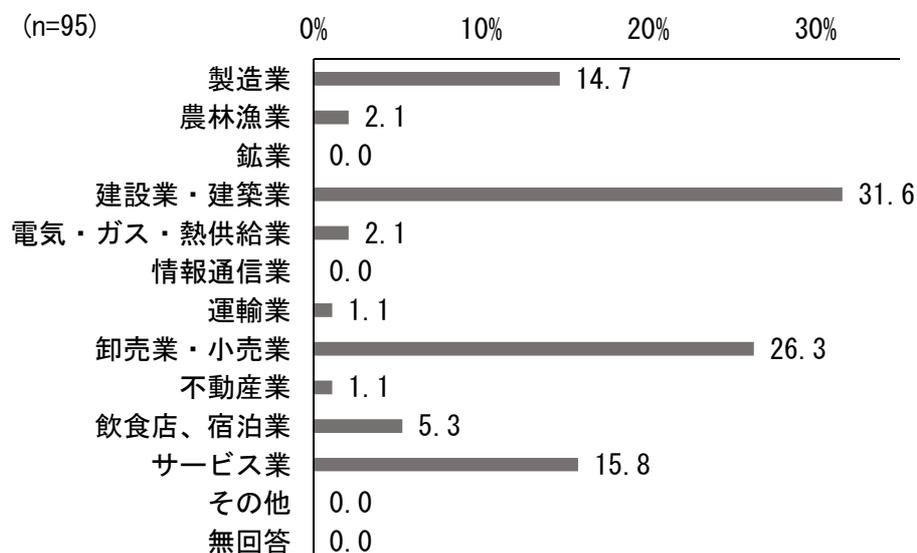


※無回答を除く

(4) 業種

業種は、「建設業・建築業」(31.6%)の割合が最も高く、以下「卸売業・小売業」(26.3%)、「サービス業」(15.8%)、「製造業」(14.7%)などとなっている（図表1-8）。

図表1-8 業種

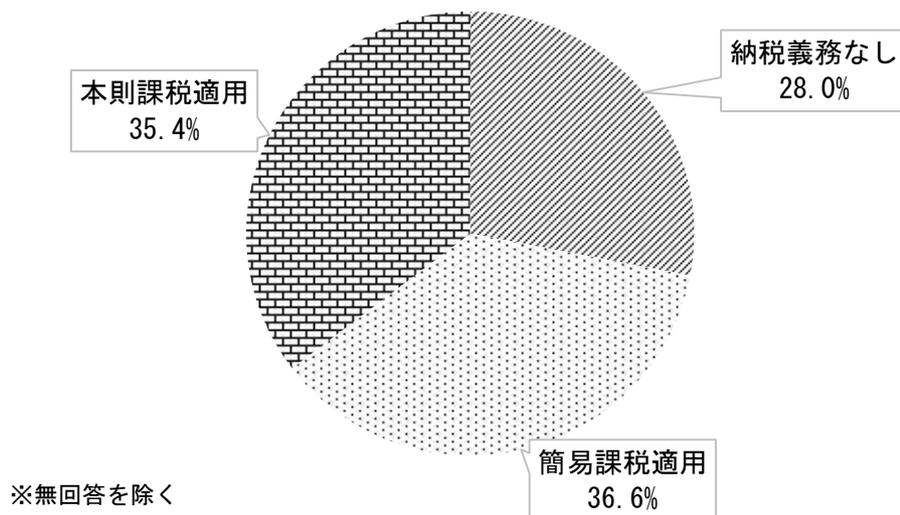


(5) 消費税区分

消費税の納税義務（無回答を除く）については、「納税義務なし」が28.0%、「簡易課税適用」が36.6%、「本則課税適用」が35.4%となっている（図表1-9）。

図表1-9 消費税区分

(n=82)

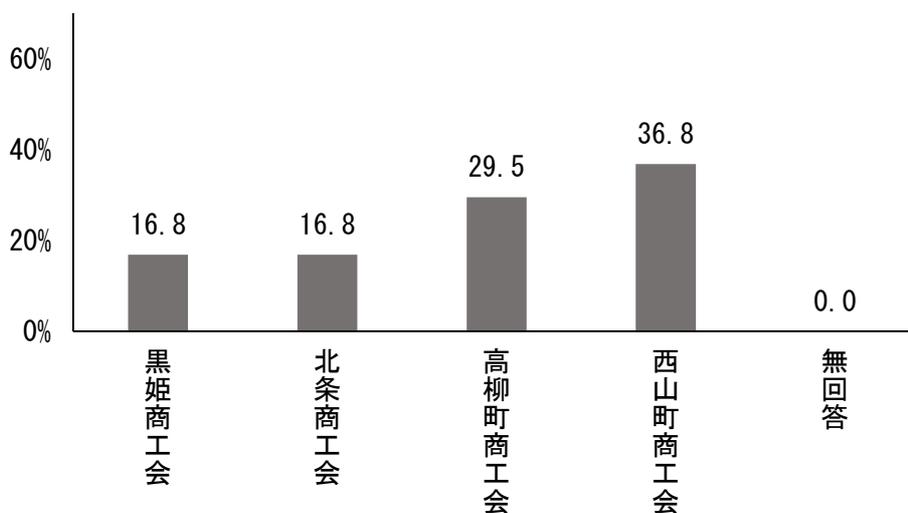


(6) 所属商工会

所属商工会は、「黒姫商工会」「北条商工会」がそれぞれ16.8%、「高柳町商工会」が29.5%、「西山町商工会」が36.8%となっている（図表1-10）。

図表1-10 所属商工会

(n=95)

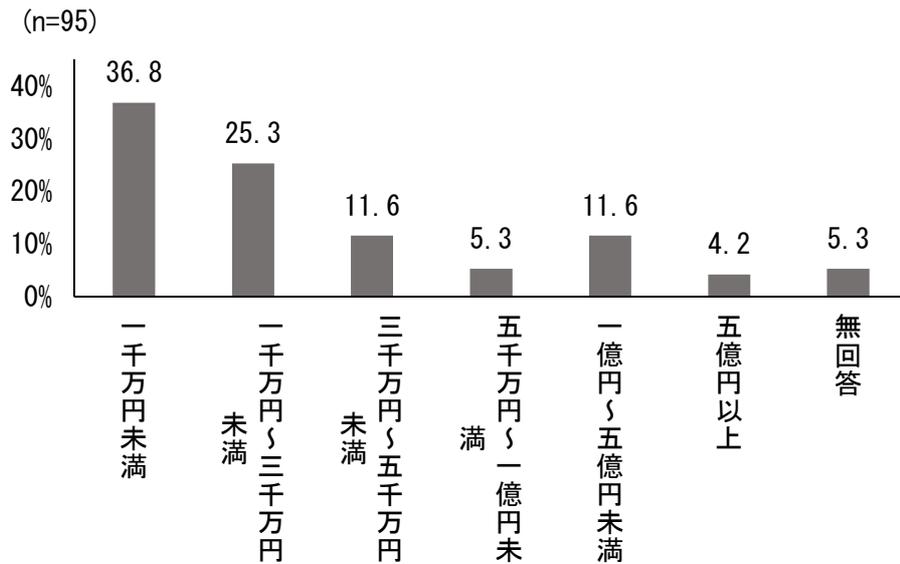


2. 売上高の状況・営業状況

(1) 直近の決算期の売上高

直近の決算期の売上高をみると、「1千万円未満」が36.8%で最も高く、以下「1千万円～3千万円未満」が25.3%、「3千万円～5千万円未満」「1億円～5億円未満」がそれぞれ11.6%などとなっている（図表2-1）。

図表2-1 直近の決算期の売上高

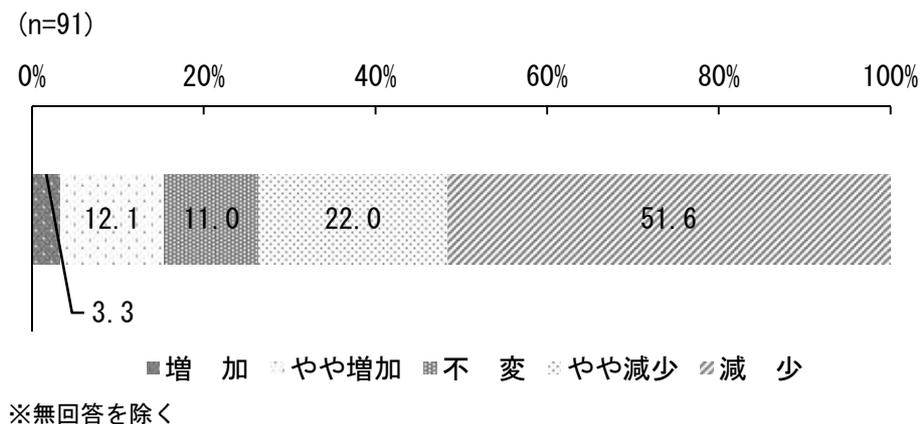


(2) 1年前と比べた営業状況

① 1年前と比べた売上高の増減

1年前と比べた売上高の増減（無回答を除く）をみると、「増加」（3.3%）と「やや増加」（12.1%）の合計が15.4%にとどまる一方で、「やや減少」（22.0%）と「減少」（51.6%）の合計（73.6%）は7割を超えている（図表2-2）。

図表2-2 1年前と比べた売上高の増減

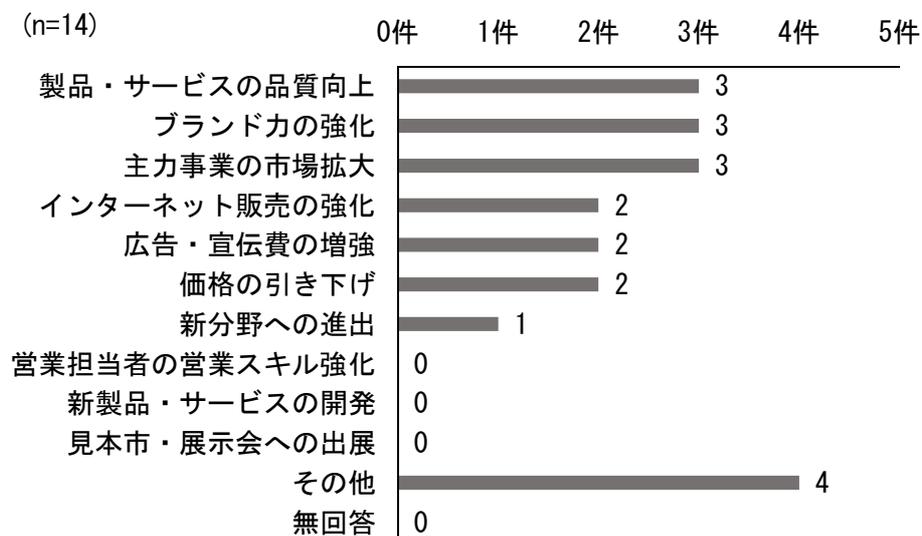


② 1年前と比べて売上高が増加した要因

①で1年前と比べて売上高が増加したと回答した企業（14件）に対して、増加した要因を尋ねてみると（複数回答）、「製品・サービスの品質向上」「ブランド力の強化」「主力事業の市場拡大」がそれぞれ3件、「インターネット販売の強化」「広告・宣伝費の増強」「価格の引き下げ」がそれぞれ2件などとなっている。

また、その他の具体的な内容としては、「（業界内の）職人不足による仕事の増加」（建設業・建築業）や「車両販売数の増加」（サービス業）、「海外宿泊者の増加」（飲食店、宿泊業）などが挙げられている（図表2-3）。

図表2-3 1年前と比べて売上高が増加した要因（複数回答）

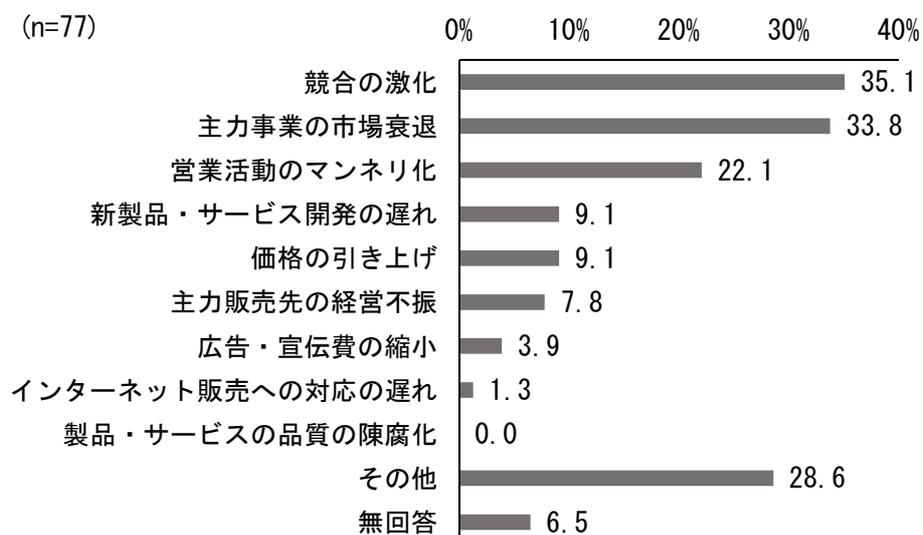


③ 1年前と比べて売上高が減少した要因

①で1年前と比べて売上高が減少したと回答した企業（77件）に対して、減少した要因を尋ねてみると（複数回答）、「競合の激化」が35.1%で最も高く、以下「主力事業の市場衰退」が33.8%、「営業活動のマンネリ化」が22.1%などとなっている。

また、その他の具体的な内容としては、「人口の減少・高齢化」（卸売業・小売業、サービス業など）が散見されるほか、「公共工事の減少」（建設業・建築業）、「従業員不足」（建設業・建築業）、「量販店との価格の差」（卸売業・小売業）などが挙げられている（図表2-4）。

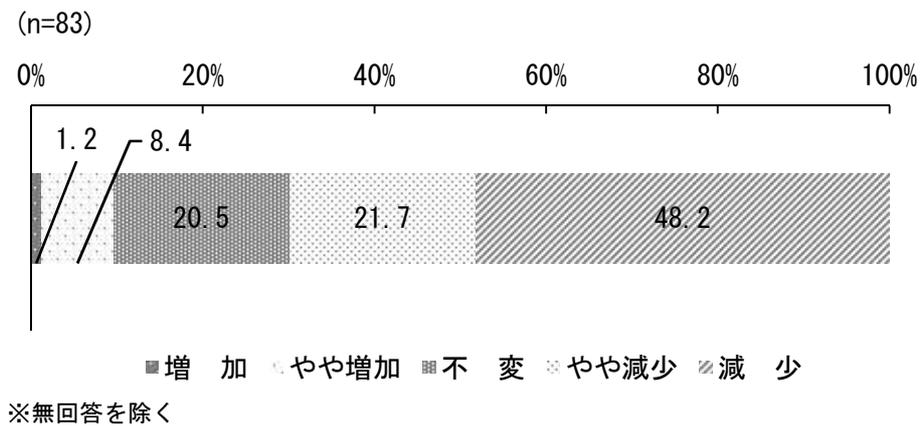
図表2-4 1年前と比べて売上高が減少した要因（複数回答）



④ 1年前と比べた販売先数の増減

1年前と比べた販売先数の増減（無回答を除く）をみると、「増加」（1.2%）と「やや増加」（8.4%）の合計が9.6%にとどまる一方で、「やや減少」（21.7%）と「減少」（48.2%）の合計（69.9%）は約7割となっている（図表2-5）。

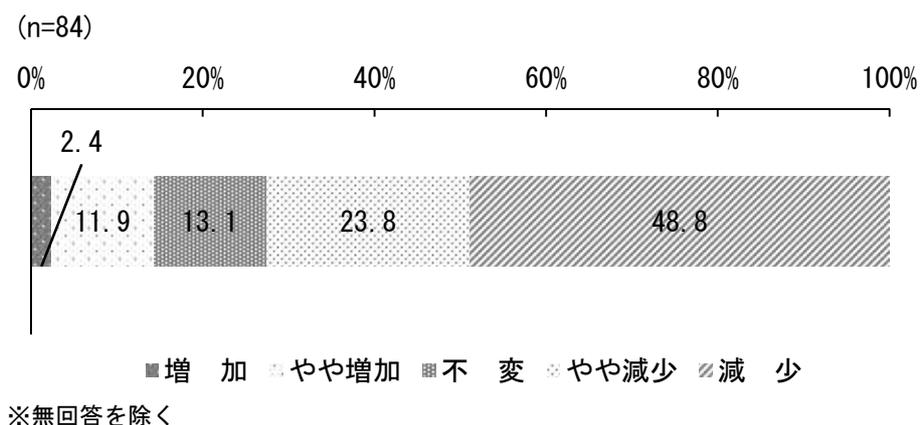
図表2-5 1年前と比べた販売先数の増減



⑤ 1年前と比べた粗利益率の増減

1年前と比べた粗利益率の増減（無回答を除く）をみると、「増加」（2.4%）と「やや増加」（11.9%）の合計が14.3%にとどまる一方で、「やや減少」（23.8%）と「減少」（48.8%）の合計（72.6%）は7割を超えている（図表2-6）。

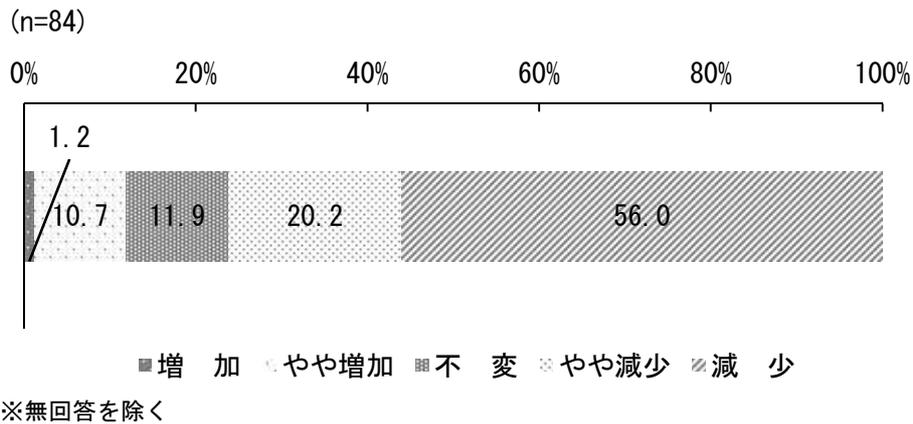
図表2-6 1年前と比べた粗利益率の増減



⑥ 1年前と比べた利益額の増減

1年前と比べた利益額の増減（無回答を除く）をみると、「増加」（1.2%）と「やや増加」（10.7%）の合計が11.9%にとどまる一方で、「やや減少」（20.2%）と「減少」（56.0%）の合計（76.2%）は8割近くとなっている（図表2-7）。

図表2-7 1年前と比べた利益額の増減

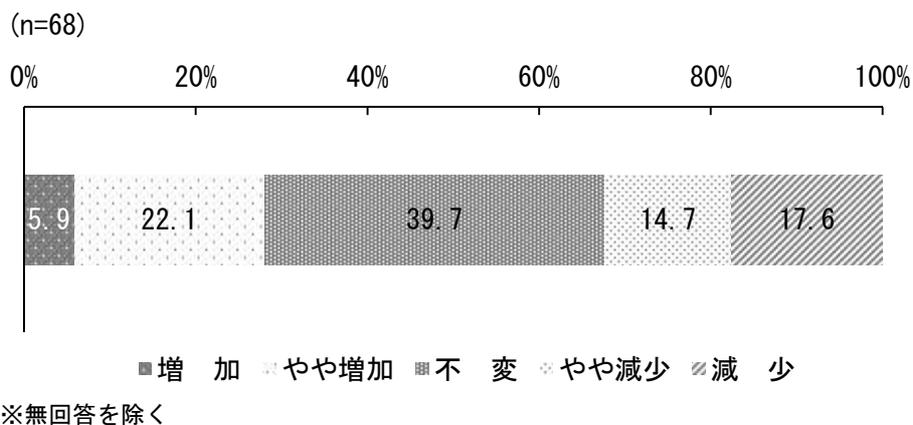


⑦ 1年前と比べた借入額の増減

1年前と比べた借入額の増減（無回答を除く）をみると、「増加」が5.9%、「やや増加」が22.1%となり、合計で28.0%となっている。また、「不変」が39.7%となっている。

一方、「やや減少」は14.7%、「減少」が17.6%と、合計で32.3%となっている（図表2-8）。

図表2-8 1年前と比べた借入額の増減



3. 現在の経営状況と今後の方針等

(1) 後継者の決定状況

後継者の決定状況を見ると、「決まっている」が16.8%、「決まっていないが候補者はいる」が17.9%となっている。

その一方で、「決める必要があるが候補者がいない」が9.5%となっている。加えて、「自分の代で廃業する予定」が49.5%となっている（図表3-1）。

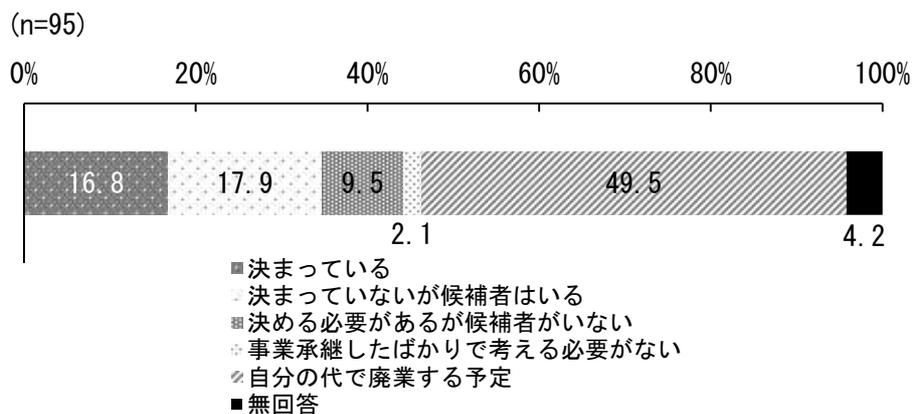
代表者の年代別にみると、『50歳代未満』で「決まっていないが候補者はいる」の割合が他の年代に比べて高くなっている。また、『70歳代以上』で「決める必要があるが候補者がいない」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

事業形態別にみると、『個人企業』では「自分の代で廃業する予定」の割合が高くなっている。一方、『法人企業』では「決まっている」「決まっていないが候補者はいる」の割合が高くなっているほか、「決める必要があるが候補者がいない」の割合も高くなっている。

所属商工会別にみると、『黒姫商工会』や『北条商工会』で「自分の代で廃業する予定」の割合が高くなっている。

売上高別にみると、『1千万円未満』では「自分の代で廃業する予定」の割合が高くなっているのに対し、『1億円以上』では「決める必要があるが候補者がいない」の割合が高くなっている（図表3-2）。

図表3-1 後継者の決定状況



図表 3-2 後継者の決定状況

(代表者の年代別、事業形態別、所属商工会別、売上高別)

(単位：%)

		決ま っている	決ま っている が候補者	決 める 必要 がある が候補 者が いない	事 業 承 継 し た ば か り で 考 え る 必 要 が な い	自 分 の 代 で 廃 業 す る 予 定	無 回 答
合 計 (n=95)		16.8	17.9	9.5	2.1	49.5	4.2
年 代 別	50歳代未満 (n=21)	14.3	33.3	9.5	9.5	33.3	0.0
	60歳代 (n=49)	18.4	18.4	6.1	0.0	55.1	2.0
	70歳代以上 (n=23)	17.4	4.3	17.4	0.0	47.8	13.0
形 態 別	個人企業 (n=62)	11.3	12.9	3.2	3.2	64.5	4.8
	法人企業 (n=33)	27.3	27.3	21.2	0.0	21.2	3.0
所 属 商 工 会 別	黒姫商工会 (n=16)	6.3	12.5	0.0	6.3	62.5	12.5
	北条商工会 (n=16)	25.0	12.5	0.0	0.0	56.3	6.3
	高柳町商工会 (n=28)	17.9	21.4	17.9	3.6	35.7	3.6
	西山町商工会 (n=35)	17.1	20.0	11.4	0.0	51.4	0.0
売 上 高 別	1千万円未満 (n=35)	0.0	5.7	5.7	0.0	85.7	2.9
	1千万円～1億円未満 (n=40)	27.5	25.0	5.0	5.0	37.5	0.0
	1億円以上 (n=15)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

(2) 他社に比べた経営上の優位性

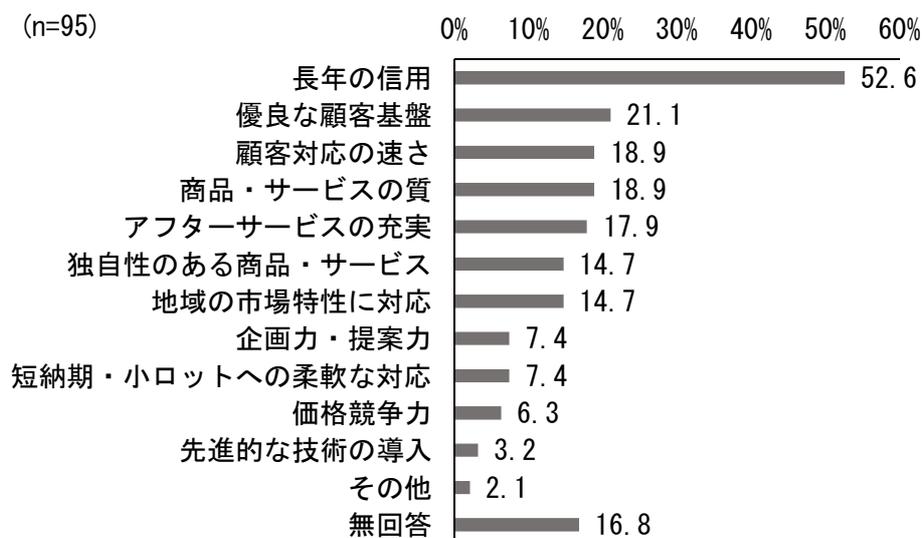
他社に比べた経営上の優位性をみると（複数回答）、「長年の信用」が52.6%で最も高く、以下「優良な顧客基盤」が21.1%、「顧客対応の速さ」「商品・サービスの質」がそれぞれ18.9%、「アフターサービスの充実」が17.9%などとなっている（図表3-3）。

代表者の年代別にみると、『50歳代未満』で「長年の信用」「優良な顧客基盤」「顧客対応の速さ」「商品・サービスの質」などをはじめ多くの項目の割合が他の年代に比べて高くなっている。

事業形態別にみると、『個人企業』では「長年の信用」の割合が高くなっているのに対し、『法人企業』では「商品・サービスの質」の割合が高くなっている。

売上高別にみると、『1億円以上』で「優良な顧客基盤」「顧客対応の速さ」「商品・サービスの質」「独自性のある商品・サービス」「企画力・提案力」「先進的な技術の導入」などの割合が他の規模に比べて高くなっている（図表3-4）。

図表3-3 他社に比べた経営上の優位性（複数回答）



図表 3-4 他社に比べた経営上の優位性

(複数回答 代表者の年代別、事業形態別、所属商工会別、売上高別)

(単位：%)

		長年の信用	優良な顧客基盤	顧客対応の速さ	商品・サービスの質	アフターサービスの充実	独自性のある商品・サービス	地域の市場特性に対応	企画力・提案力	柔軟な対応	短納期・小ロットへの柔軟性	価格競争力	先進的な技術の導入	その他	無回答
合計 (n=95)		52.6	21.1	18.9	18.9	17.9	14.7	14.7	7.4	7.4	6.3	3.2	2.1	16.8	
代表者の年代別	50歳代未満 (n=21)	61.9	42.9	38.1	38.1	23.8	9.5	33.3	4.8	14.3	9.5	0.0	0.0	4.8	
	60歳代 (n=49)	55.1	14.3	20.4	18.4	20.4	20.4	12.2	12.2	6.1	6.1	6.1	2.0	10.2	
	70歳代以上 (n=23)	39.1	13.0	0.0	4.3	4.3	8.7	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	39.1	
事業形態別	個人企業 (n=62)	59.7	21.0	22.6	12.9	21.0	6.5	14.5	3.2	8.1	8.1	0.0	1.6	19.4	
	法人企業 (n=33)	39.4	21.2	12.1	30.3	12.1	30.3	15.2	15.2	6.1	3.0	9.1	3.0	12.1	
所属商工会別	黒姫商工会 (n=16)	50.0	31.3	25.0	6.3	25.0	6.3	0.0	0.0	18.8	12.5	0.0	6.3	25.0	
	北条商工会 (n=16)	68.8	31.3	37.5	18.8	50.0	6.3	18.8	12.5	18.8	6.3	12.5	0.0	18.8	
	高柳町商工会 (n=28)	46.4	21.4	21.4	21.4	10.7	28.6	17.9	14.3	3.6	3.6	3.6	0.0	17.9	
	西山町商工会 (n=35)	51.4	11.4	5.7	22.9	5.7	11.4	17.1	2.9	0.0	5.7	0.0	2.9	11.4	
売上高別	1千万円未満 (n=35)	57.1	20.0	17.1	14.3	22.9	2.9	11.4	2.9	5.7	8.6	0.0	2.9	22.9	
	1千万円～1億円未満 (n=40)	57.5	17.5	20.0	17.5	15.0	17.5	17.5	5.0	7.5	5.0	0.0	2.5	7.5	
	1億円以上 (n=15)	40.0	40.0	26.7	33.3	20.0	40.0	20.0	26.7	13.3	6.7	20.0	0.0	6.7	

(3) 経営上の問題点

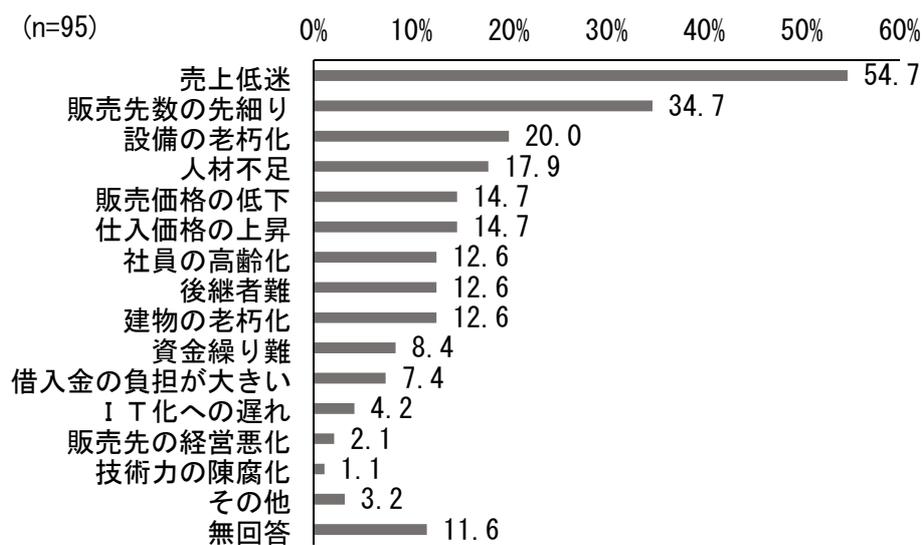
経営上の問題点をみると（複数回答）、「売上低迷」が54.7%で最も高く、以下「販売先数の先細り」が34.7%、「設備の老朽化」が20.0%、「人材不足」が17.9%などとなっている（図表3-5）。

代表者の年代別にみると、『50歳代未満』で「販売価格の低下」「仕入価格の上昇」「人材不足」などの項目の割合が他の年代に比べて高くなっている。他方、『70歳代以上』では「販売先数の先細り」「後継者難」「社員の高齢化」などの割合が他の年代に比べて高くなっている。

事業形態別にみると、『法人企業』で「設備の老朽化」「人材不足」「社員の高齢化」「建物の老朽化」などの割合が高くなっている。

売上高別にみると、『1千万円未満』や『1千万円～1億円未満』で「販売先数の先細り」の割合が『1億円以上』に比べて高くなっている。他方、『1億円以上』では「設備の老朽化」「人材不足」「社員の高齢化」「建物の老朽化」などの割合が他の規模に比べて高くなっている（図表3-6）。

図表3-5 経営上の問題点（複数回答）



図表 3-6 経営上の問題点

(複数回答 代表者の年代別、事業形態別、所属商工会別、売上高別)

(単位：%)

		売上低迷	販売先数の先細り	設備の老朽化	人材不足	販売価格の低下	仕入価格の上昇	社員の高齢化	後継者難	建物の老朽化	資金繰り難	借入金の負担が大きい	IT化への遅れ	販売先の経営悪化	技術力の陳腐化	その他	無回答
合 計 (n=95)		54.7	34.7	20.0	17.9	14.7	14.7	12.6	12.6	12.6	8.4	7.4	4.2	2.1	1.1	3.2	11.6
年 代 別	50歳代未満 (n=21)	52.4	33.3	19.0	28.6	33.3	33.3	14.3	0.0	14.3	23.8	9.5	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8
	60歳代 (n=49)	65.3	30.6	20.4	20.4	12.2	10.2	8.2	6.1	14.3	6.1	8.2	4.1	2.0	0.0	4.1	8.2
	70歳代以上 (n=23)	39.1	43.5	21.7	4.3	4.3	8.7	21.7	39.1	8.7	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	4.3	21.7
形 態 別	個人企業 (n=62)	56.5	38.7	12.9	12.9	16.1	16.1	8.1	12.9	8.1	8.1	6.5	4.8	1.6	1.6	3.2	14.5
	法人企業 (n=33)	51.5	27.3	33.3	27.3	12.1	12.1	21.2	12.1	21.2	9.1	9.1	3.0	3.0	0.0	3.0	6.1
所 属 商 工 会 別	黒姫商工会 (n=16)	50.0	25.0	6.3	6.3	18.8	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	0.0	6.3	25.0
	北条商工会 (n=16)	37.5	31.3	25.0	18.8	18.8	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8
	高柳町商工会 (n=28)	53.6	35.7	21.4	25.0	14.3	25.0	7.1	10.7	17.9	14.3	10.7	3.6	7.1	3.6	3.6	10.7
	西山町商工会 (n=35)	65.7	40.0	22.9	17.1	11.4	11.4	20.0	17.1	11.4	5.7	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
売 上 高 別	1千万円未満 (n=35)	54.3	40.0	11.4	0.0	11.4	11.4	5.7	20.0	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0	5.7	17.1
	1千万円～1億円未満 (n=40)	62.5	42.5	22.5	25.0	15.0	17.5	10.0	10.0	17.5	10.0	7.5	10.0	5.0	2.5	0.0	0.0
	1億円以上 (n=15)	46.7	13.3	40.0	46.7	26.7	20.0	40.0	6.7	20.0	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7

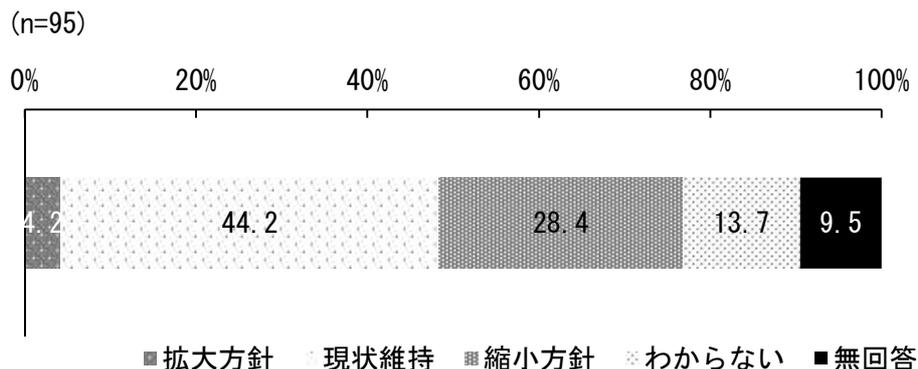
(4) 今後の事業の進め方

今後の事業の進め方をみると、「現状維持」が44.2%で最も高くなっている。

一方、「拡大方針」が4.2%にとどまっているのに対し、「縮小方針」が28.4%となっているほか、「わからない」が13.7%となっている（図表3-7）。

また、それぞれの方針の理由について、主なものは図表3-8の通りとなっている。

図表3-7 今後の事業の進め方



図表3-8 今後の事業の進め方についての理由

	今後の事業の進め方についての理由	業種	所属商工会
拡大方針	・将来的に主力商品の売上が減っていくので、新しいサービスや多角化が必要と考えている	卸売業・小売業	高柳町
	・地域に農地の担い手がいないので、当社が規模を拡大していくことになる	農林漁業	黒 姫
現状維持	・後継者がいないため、見つかるまで現状維持	製造業	高柳町
	・人材確保が困難	製造業	高柳町
	・年齢的にも、このまま自分の思うままに仕事をしていきたい	建設業・建築業	黒 姫
	・自分が元気なうちは、現状維持で営業したい	サービス業	西山町
縮小方針	・後継者がいないので、自分の代で廃業予定	卸売業・小売業	高柳町
	・先の見通しが無い	建設業・建築業	西山町
	・廃業予定	建設業・建築業	北 条

(5) 経営を進めるうえで困っていること

経営を進めるうえで困っていること（自由回答形式）について、主なものをみると、図表3-9の通りとなっている。

図表3-9 経営を進めるうえで困っていること

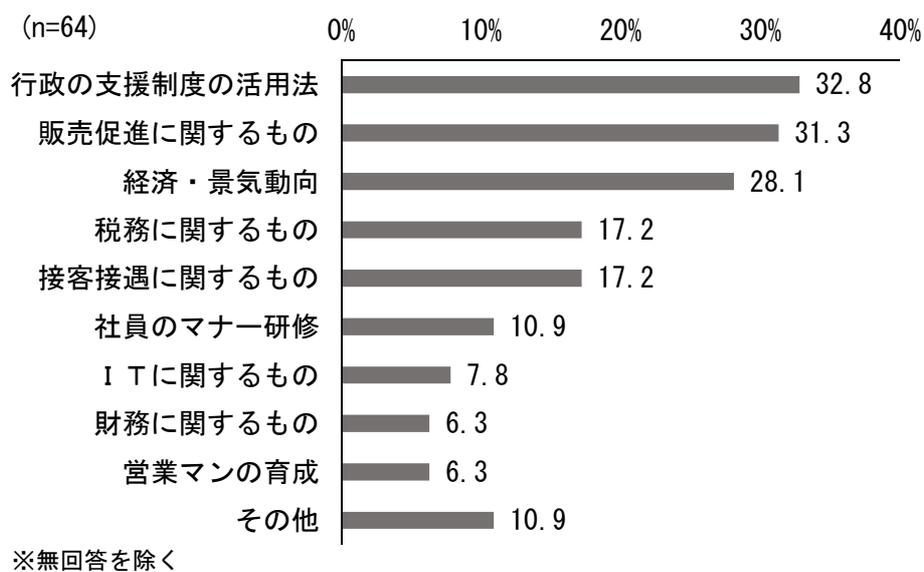
経営を進めるうえで困っていること	業種	所属商工会
<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく仕事がない（公共工事） ・設計単価の人件費が安すぎ ・若い人材がいない 	建設業・ 建築業	西山町
<ul style="list-style-type: none"> ・ギリギリの人数で仕事をしているため、1人でも欠けた場合の対応が問題である。お客さまから継続して仕事を頂いている場合が多いので、機械を動かさない時は、同業者に頼まなければならないし、その場合、納期限に間に合わせることができるかが心配である 	製造業	北条
<ul style="list-style-type: none"> ・営業専門の職員が必要と思っているが、どんな方法で、どんな条件で採用して良いのか、考えがまとまらない 	製造業	高柳町
<ul style="list-style-type: none"> ・社員の定着率が低い。仕事に対しての意識レベルも低い。良い人材に出会えなければ、一步も先へは進めない 	製造業	西山町
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化で売り上げが減少していくこと 	卸売業・ 小売業	高柳町
<ul style="list-style-type: none"> ・単価の過剰競争がある 	建設業・ 建築業	西山町
<ul style="list-style-type: none"> ・新しいサービスや多角化を行う際の販路開拓について 	卸売業・ 小売業	高柳町
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様より事業縮小を悟られずに、現状維持のまま10年後に廃業を予定している。円滑な廃業までの道筋が課題である 	卸売業・ 小売業	西山町

4. 商工会への要望事項等

(1) 関心のある講習会・研修会のテーマ

関心のある講習会・研修会のテーマをみると（複数回答。無回答を除く）、「行政の支援制度の活用法」が32.8%で最も高く、以下「販売促進に関するもの」が31.3%、「経済・景気動向」が28.1%、「税務に関するもの」「接客接遇に関するもの」がそれぞれ17.2%などとなっている（図表4-1）。

図表4-1 関心のある講習会・研修会のテーマ（複数回答）

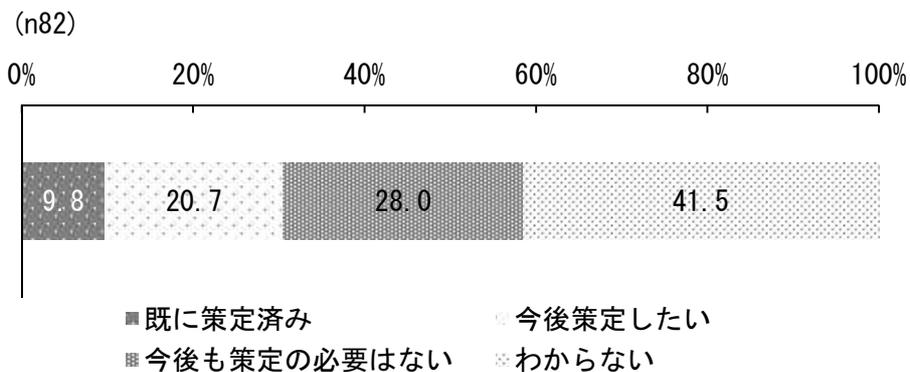


(2) 事業計画策定への関心度合い

事業計画策定への関心度合いをみると、「既に策定済み」が9.8%、「今後策定したい」が20.7%となっている。

一方、「今後も策定の必要はない」が28.0%となっているほか、「わからない」が41.5%となっている（図表4-2）。

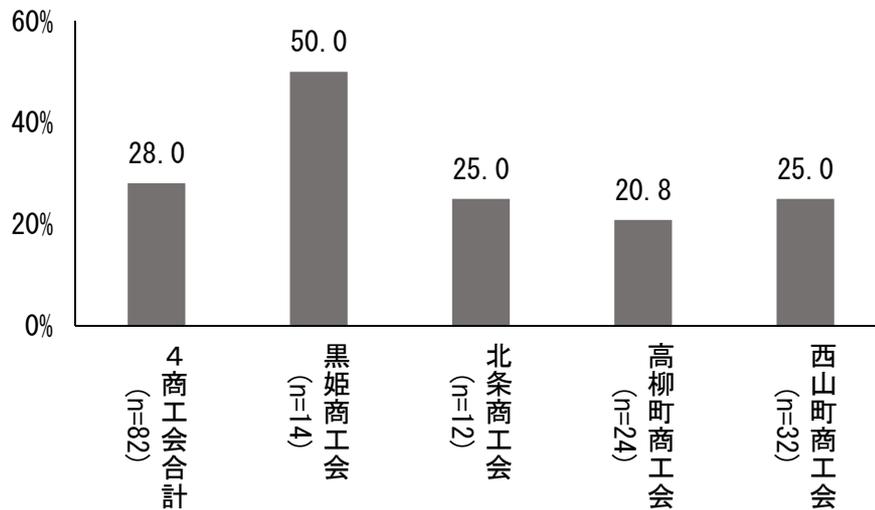
図表4-2 事業計画策定への関心度合い



※無回答を除く

「今後も策定の必要はない」について、所属商工会別にみると、「黒姫商工会」(50.0%)で、その割合が高くなっている(図4-3)。

図表4-3 今後も策定の必要はない(所属商工会別)



(3) 商工会への要望事項

商工会への要望事項(自由回答形式)について、主なものをみると、図表4-4の通りとなっている。

図表4-4 商工会への要望事項

商工会への要望事項	業種	所属商工会
・少数会員の商工会は、なるべく早く連合商工会の立場でリーダーシップをとり、よりよい形態を作してほしい	建設業・建築業	黒姫
・会員の団結力を向上させて、会の維持に役立つ事業をしてほしい	卸売業・小売業	西山町
・連合商工会として、市外や県外で柏崎の良さを知ってもらえる機会(イベントなど)を作って頂ければありがたい。また、先月行って頂いたような講習会を開いて頂きたい	卸売業・小売業	高柳町
・会員の実状に合わせた支援制度の紹介。柏崎市連合商工会や他の商工会員との出会いの場を作してほしい(地元の他のエリアにある良い物を積極的に取り入れていきたい)	製造業	西山町
・地域資源の活用とビジネス化について、企業と行政が一体となった取り組みをお願いしたい	サービス業	北条

資 料 編

平成 27 年度柏崎市連合商工会「広域連携」会員実態調査票

＜ご回答にあたり＞

- ・設問に対するご回答は、該当する番号を○で囲んでください。設問によっては、1つだけを選ぶものと複数選べるものがあります。また、「その他」を選ばれた場合には、() 内に具体的な内容をご記入下さい。
 - ・人数やご意見をご記入いただく設問については、回答欄に具体的な内容をご記入下さい。また、回答欄に書ききれない場合は適宜余白にご記入下さい。
 - ・ご回答内容は統計的に処理いたしますので、会社名（事業所名）や個人名などが公表されることはございませんので、率直なご回答をお願いいたします。
- ※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、11月20日（金）までにご返送下さいますようお願いいたします。

(1) 最初に、貴社（貴事業所）名および代表者名等をご記入下さい。

貴社・貴事業所名			
代表者のお名前		代表者の性別・年齢	男・女 歳
事業形態	1. 個人企業 2. 株式会社 3. 有限会社 4. 合資会社 5. 合名会社 6. 合同会社 7. その他 ()		
役員・従業員数	正規従業員数	人	非正規従業員数 人
	役員数 (法人の場合・代表者除く)	人	家族従業員数 (個人の場合・事業主除く) 人
所属商工会	1. 黒姫 2. 北条 3. 高柳町 4. 西山町		
業 種	1. 農林漁業 2. 鉱業 3. 建設業・建築業 4. 製造業 5. 電気・ガス・熱供給業 6. 情報通信業 7. 運輸業 8. 卸売業・小売業 9. 不動産業 10. 飲食店、宿泊業 11. サービス業 12. その他 ()		
消費税区分	1. 納税義務なし 2. 簡易課税適用 3. 本則課税適用		

(2) 貴社（貴事業所）の直近の決算期の売上高はどのくらいですか？該当するものを1つだけ○で囲んで下さい。この調査票が届いた支店・営業所単位でお答え下さい

1. 1千万円未満	2. 1千万円～3千万円未満	3. 3千万円～5千万円未満
4. 5千万円～1億円未満	5. 1億円～5億円未満	6. 5億円以上

(3) 貴社（貴事業所）の営業状況は1年前に比べて、どのように推移していますか？
該当するものをそれぞれ1つずつ○で囲んで下さい。

①売上高	1. 増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. 減少
②販売先数	1. 増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. 減少
③粗利益率	1. 増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. 減少
④利益額	1. 増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. 減少
⑤借入額	1. 増加	2. やや増加	3. 不変	4. やや減少	5. 減少

(4) 前問の(3)①売上高で「増加」「やや増加」と回答された方にお尋ねします。
「増加」または「やや増加」の要因は何ですか？該当する番号をすべて○で囲んで下さい。引き続き(6)へお進み下さい。

1. 製品・サービスの品質向上	2. インターネット販売の強化	3. 営業担当者の営業スキル強化
4. ブランド力の強化	5. 新製品・サービスの開発	6. 広告・宣伝費の増強
7. 価格の引き下げ	8. 主力事業の市場拡大	9. 見本市・展示会への出展
10. 新分野への進出	11. その他 ()	

(5) 前々問の(3)①売上高で「不変」「やや減少」「減少」と回答された方にお尋ねします。
「不変」または「やや減少」「減少」の要因は何ですか？該当する番号をすべて○で囲んで下さい。引き続き(6)へお進み下さい。

1. 製品・サービスの品質の陳腐化	2. インターネット販売への対応の遅れ	3. 営業活動のマンネリ化
4. 新製品・サービス開発の遅れ	5. 広告・宣伝費の縮小	6. 価格の引き上げ
7. 主力販売先の経営不振	8. 競合の激化	9. 主力事業の市場衰退
10. その他 ()		

(10) 今後の経営を進められるうえで、お困りになっていることがあれば、以下にご記入下さい。

(11) 「柏崎市連合商工会」では、講習会・研修会の充実を検討しております。
貴社（貴事業所）では、どのようなテーマ・内容の講習会・研修会に関心がありますか？該当するものをすべて○で囲んで下さい。

1. 財務に関するもの	2. 税務に関するもの	3. 社員のマナー研修
4. 販売促進に関するもの	5. 経済・景気動向	6. 行政の支援制度の活用法
7. 営業マンの育成	8. ITに関するもの	9. 接客接遇に関するもの
10. その他（		）

(12) 貴社（貴事業所）では、経営を一層発展させていくための事業計画の策定に関心がありますか？該当するものを1つだけ○で囲んで下さい。

1. 既に策定済み	2. 今後策定したい	3. 今後も策定の必要はない	4. わからない
-----------	------------	----------------	----------

(13) 「柏崎市連合商工会」ならびに所属する商工会に取り組んでほしい事業や、その他ご要望があれば、以下にご記入下さい。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒で11月20日（金）までにご返信をお願いします。

平成27年度 柏崎市連合商工会会員実態調査

報 告 書

平成27年12月

柏崎市連合商工会

【黒姫商工会・北条商工会・高柳町商工会・西山町商工会】